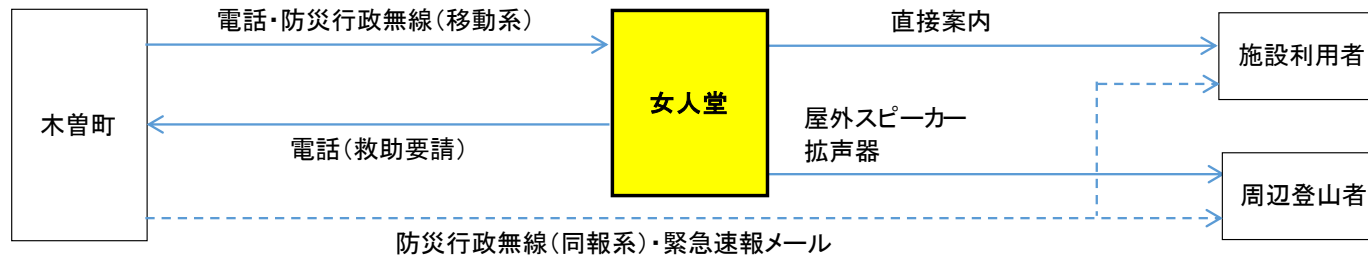


女人堂火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-8329-1385

【情報伝達図】



【緊急避難場所としての機能】

- 営業期間 7月中旬～10月中旬(夜間営業有)
- 木造2階建て スタッフ5～8名
- 収容人員120名(緊急時最大受入可能数250人)
- 発動発電機(5kVA 予備燃料 400L)2台
- 食料 約600食・水10t
- 携帯型無線機・携帯電話
- 防災ヘルメット150個 ゴーグル100個
- マスク1000枚 懐中電灯30個
- 折畳み担架 AED 災害多人数用応急箱



防災行政無

【噴火時の防災対応】

- 施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導
- 緊急避難場所として登山者等の受入れ
- 木曾警察署・木曾町等への救助要請
- 避難者名簿の作成
- 気象庁・木曾町等からの噴火情報の収集

【平時の防災対応】

- 通信機器・防災用品の点検
- 避難誘導訓練の実施
- 啓発チラシの配布
- 登山安全指導所としてパトロール活動や啓発活動等を実施

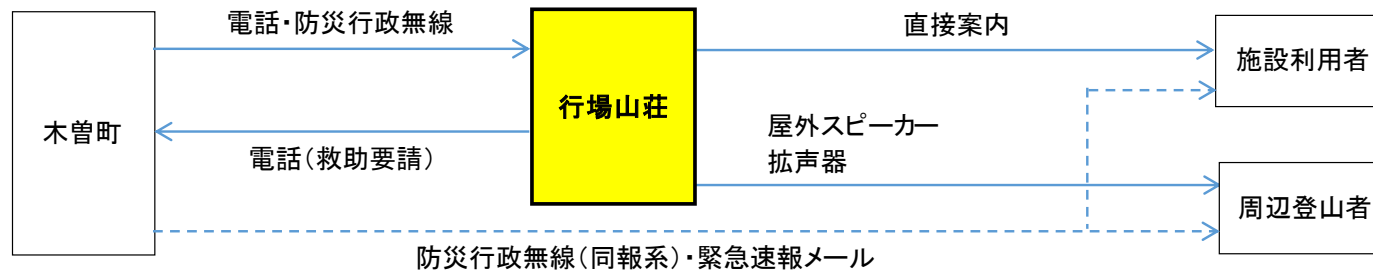
【関係機関】

名称
長野県木曾警察署
三岳警察官駐在所
木曾広域消防本部
木曾消防署
長野県立木曾病院
木曾みたけ診療所
中部森林管理局木曾森林管理署
長野県木曾地域振興局
木曾町役場
木曾町役場 三岳支所
一般社団法人木曾おんたけ観光局

行場山荘火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-4380-5200

【情報伝達図】



【緊急避難場所としての機能】

- 営業期間 7月上旬～10月中旬(夜間営業有)
- 木造2階建て スタッフ5～7名
- 収容人員80名(緊急時最大受入可能数200人)
- 発動発電機(5kVA 予備燃料 200L)2台
- 食料 約500食・水2t
- 携帯型無線機・携帯電話
- 防災ヘルメット100個 ゴーグル100個
- マスク1000枚 懐中電灯30個
- 折畳み担架 AED 災害多人数用応急箱



【噴火時の防災対応】

- 施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導
- 緊急避難場所として登山者等の受入れ
- 木曾警察署・木曾町等への救助要請
- 避難者名簿の作成
- 気象庁・木曾町等からの噴火情報の収集

【平時の防災対応】

- 通信機器・防災用品の点検
- 避難誘導訓練の実施
- 啓発チラシの配布
- 登山安全指導所としてパトロール活動や啓発活動等を実施

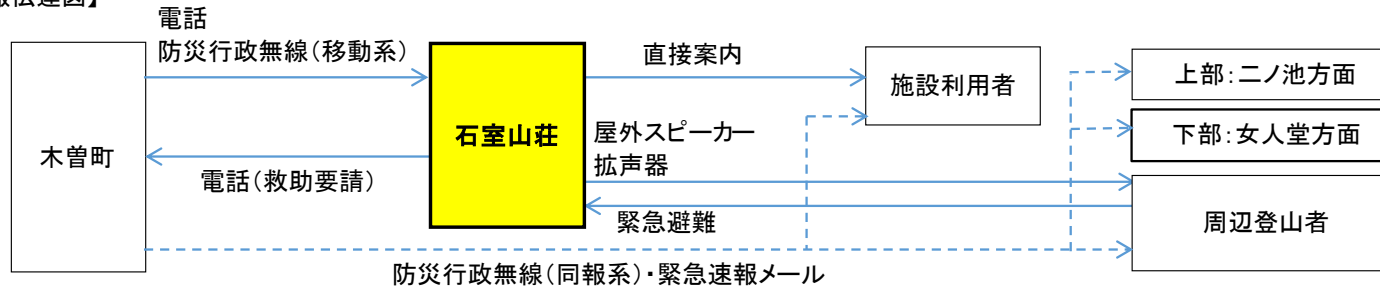
【関係機関】

名称
長野県木曾警察署
三岳警察官駐在所
木曾広域消防本部
木曾消防署
長野県立木曾病院
木曾みたけ診療所
中部森林管理局木曾森林管理署
長野県木曾地域振興局
木曾町役場
木曾町役場 三岳支所
一般社団法人木曾おんたけ観光局

石室山荘火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-8873-9761

【情報伝達図】



【緊急避難場所としての機能】

- 携帯型無線機・携帯電話
- 防災ヘルメット100個
- マスク1000枚 懐中電灯30個 毛布100枚 ゴーグル100個
- 折畳み担架 AED 災害多人数用救急箱
- パトロール隊の常駐所
- 営業期間 7月中旬～10月中旬(夜間営業有)
- 木造2階建て 収容人員80人(緊急時最大受入可能数100人)
- 発電発電機(6KVA 予備燃料400L)2台
- 建物屋根は噴石対策(アラミド)済み



【噴火時の対応】

- 緊急避難場所として登山者等の受入れ
- 施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導
- 木曾警察署・木曾町等への救助要請
- 避難者名簿の作成
- 気象庁・木曾町からの噴火情報の収集

【平時の防災対応】

- 通信機器・防災用品の点検
- 登山安全指導所としてパトロール活動や啓発活動等を実施

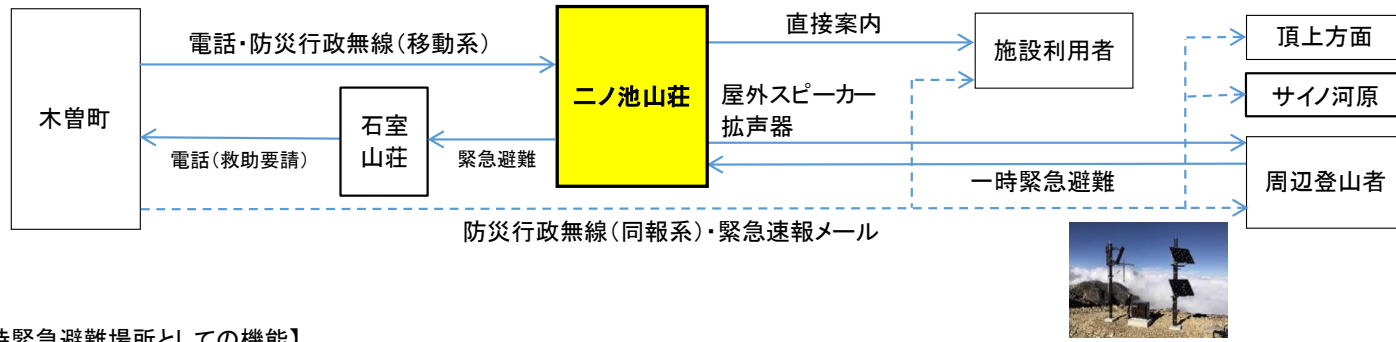
【関係機関】

名 称	
(山上施設等)	(山麓施設)
二ノ池山荘	長野県木曾警察署
女人堂	三岳警察官駐在所
行場山荘	木曾広域消防本部
五の池小屋	木曾消防署
御岳ロープウェイ	長野県立木曾病院
↑常駐者のいる施設との間で入 山者数の確認・共有を強化す る。	木曾みたけ診療所
	中部森林管理局木曾森林管理署
	長野県木曾地域振興局
	木曾町役場
	木曾町役場 三岳支所
	一般社団法人木曾おんたけ観光局

二ノ池山荘火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-7000-5780

【情報伝達図】



【一時緊急避難場所としての機能】

- パトロール隊による緊急避難受入
- 防災ヘルメット100個 ゴーグル100個
- マスク1000枚 懐中電灯30個 毛布100枚
- 折畳み担架 AED 災害多数用救急箱
- 営業期間 7月中旬～10月中旬(夜間営業有)
- 木造2階建て
- 収容人員70名(緊急時最大受入可能数100人)
- 発動発電機(6KVA 予備燃料400L)2台
- 建物屋根及び山頂側壁面は噴石対策(アラミド)済み



【関係機関】

名 称	
(山上施設等)	(山麓施設)
御嶽山安全パトロール隊	長野県木曽警察署
石室山荘	三岳警察官駐在所
女人堂	木曽広域消防本部
行場山荘	木曽消防署
五の池小屋	長野県立木曽病院
御岳ロープウェイ	木曽みたけ診療所
↑常駐者のいる施設との間で入山者数の確認・共有を強化する。	中部森林管理局木曽森林管理署
	長野県木曽地域振興局
	木曽町役場
	木曽町役場 三岳支所
	一般社団法人木曽おんたけ観光局

【噴火時の対応】

- 避難登山者等の一時受入れ
- (一時避難後、下山誘導)

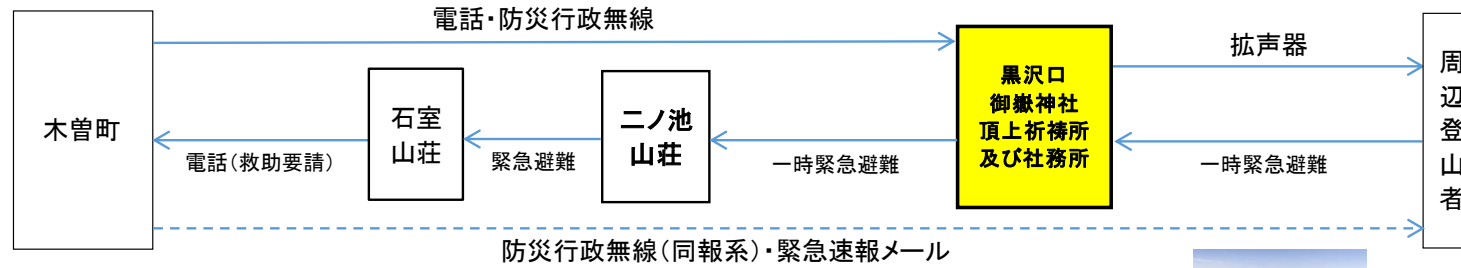
【平時の防災対応】

- 通信機器・防災用品の点検
- 登山安全指導所としてパトロール活動や啓発活動等を実施

御嶽神社剣ヶ峰祈禱所火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-1867-6406（宮司）

【情報伝達図】



【一時緊急避難場所としての機能】

- パトロール隊による緊急避難受入
- 木造2階建て
- 収容人員10名(緊急時最大受入可能数30人)
- 建物屋根及び山頂側壁面は噴石対策(アラミド)済みH30



防災行政無線

【関係機関】

名 称	
(山上施設等)	(山麓施設)
御嶽山安全パトロール隊	長野県木曽警察署
石室山荘	三岳警察官駐在所
女人堂	木曽広域消防本部
行場山荘	木曽消防署
五の池小屋	長野県立木曽病院
御岳ロープウェイ	木曽みたけ診療所
二ノ池山荘	中部森林管理局木曽森林管理署
↑パトロール隊を經由し、常駐者のいる施設との間で入山者数の確認・共有を強化する。	長野県木曽地域振興局
	木曽町役場
	木曽町役場 三岳支所
	一般社団法人木曽おんたけ観光局

【噴火時の対応】

- 避難登山者等の一時受入れ
- (一時避難後、パトロール隊による下山誘導)

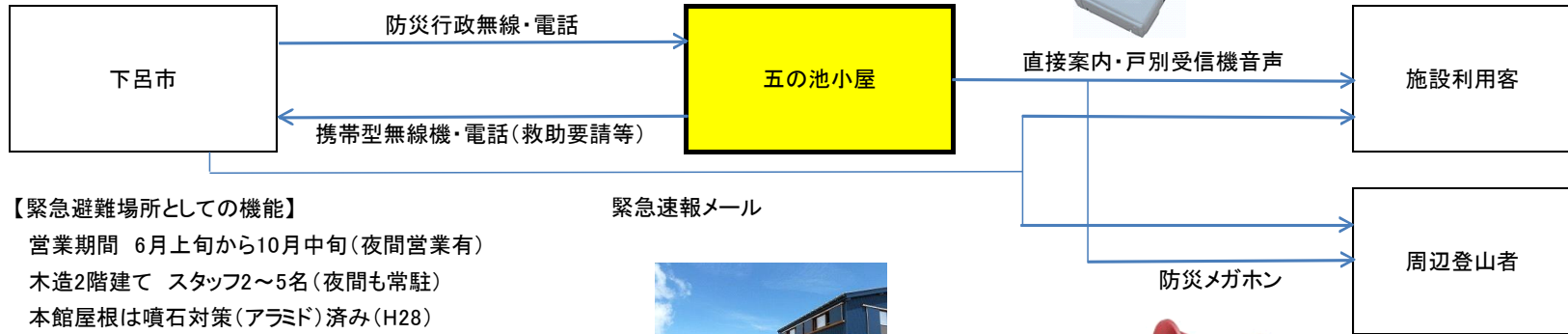
【平時の防災対応】

- 啓発活動の実施(チラシ配布、声掛け等)

五の池小屋火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-7612-2458

【情報伝達図】



【緊急避難場所としての機能】

- 営業期間 6月上旬から10月中旬(夜間営業有)
- 木造2階建て スタッフ2~5名(夜間も常駐)
- 本館屋根は噴石対策(アラミド)済み(H28)
- 収容人員100名 (緊急時最大受入可能数120人)
- 発動発電機 (5kVA、3kVA各1台 予備燃料400?)
- 食料 約500食・水 3~7t
- 携帯型無線機・携帯電話
- 防災ヘルメット100個
- ゴーグル100個 マスク100枚
- ヘッドライト30個 折畳み担架 AED

緊急速報メール



【噴火時の防災対応】

- 施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導
- 緊急避難場所として登山者等の受入れ
- 下呂警察署・下呂市等への救助要請
- 避難者名簿の作成
- 気象庁・下呂市等からの噴火情報の収集

【平時の防災対応】

- 通信機器・防災用品の点検
- 避難誘導訓練の実施
- 施設利用者及び周辺登山者への啓発(チラシ配布等)

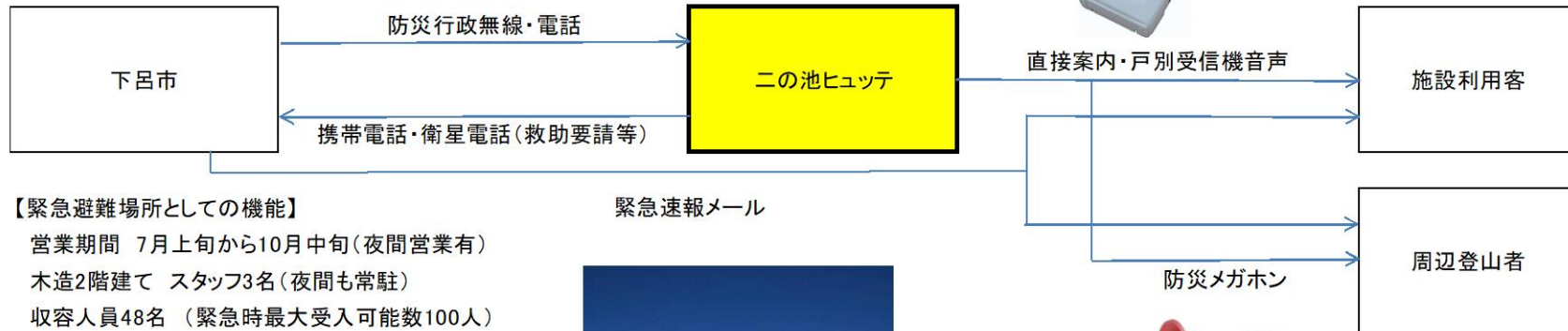
【関係機関】

名称
岐阜県下呂警察署
落合警察官駐在所
下呂市消防本部
下呂温泉病院
下呂市立小坂診療所
中部森林管理局岐阜森林管理署
岐阜県飛騨県事務所
下呂市役所
下呂市役所 小坂振興事務所
飛騨小坂観光協会
濁河温泉管理組合

二の池ヒュッテ火山災害時防災対応図

緊急連絡先：090-4368-1787

【情報伝達図】



【緊急避難場所としての機能】

営業期間 7月上旬から10月中旬(夜間営業有)
 木造2階建て スタッフ3名(夜間も常駐)
 収容人員48名(緊急時最大受入可能数100人)
 発動発電機(6kVA 2台 予備燃料400?)
 食料 約300食・水 5~9t
 衛星電話・携帯電話
 防災ヘルメット50個
 ゴーグル50個 マスク90枚
 ヘッドライト50個



緊急速報メール

防災メガホン



【噴火時の防災対応】

施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導
 緊急避難場所として登山者等の受入れ
 下呂警察署・下呂市等への救助要請
 避難者名簿の作成
 気象庁・下呂市等からの噴火情報の収集



【平時の防災対応】

通信機器・防災用品の点検
 避難誘導訓練の実施
 施設利用者及び周辺登山者への啓発(チラシ配布等)

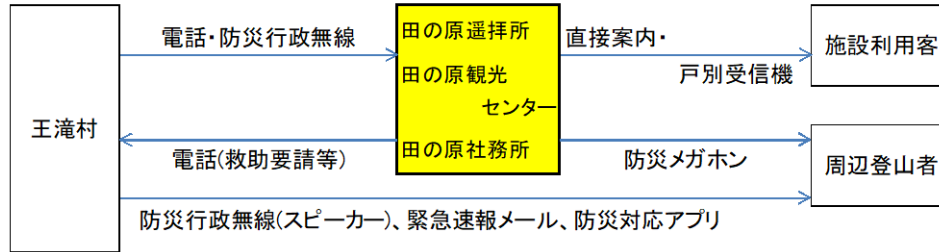
【関係機関】

名称
岐阜県下呂警察署
落合警察官駐在所
下呂市消防本部
下呂温泉病院
下呂市立小坂診療所
中部森林管理局岐阜森林管理署
岐阜県飛騨県事務所
下呂市役所
下呂市役所 小坂振興事務所
飛騨小坂観光協会
濁河温泉管理組合

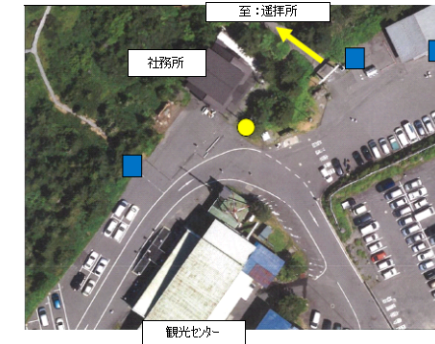
「田の原遥拝所・登山道入口」火山災害時防災対応

緊急連絡先 田の原遥拝所 : 090-4159-4818
 田の原観光センター : 0264-48-2544
 田の原社務所 : 0264-48-2694

【情報伝達図】



【防災設備設置位置図】



【緊急避難場所としての機能】

項目	田の原遥拝所	田の原観光センター (田の原山荘)	田の原社務所
営業期間等	未定	未定	未定
スタッフ	未定	未定	未定
建物構造	鉄骨平屋建て	RC(一部木造)3階建て	木造2階建て
緊急時最大受入可能数	約100名	約450名 (収容人員: 230名)	約50名
電源	商用電源	商用電源	商用電源
水	水道水	水道水	水道水
防災ヘルメット	100個	100個	50個
懐中電灯	有	有	有
電話	携帯電話	固定電話	固定電話
防災行政無線戸別受信機	有	有	有
AED	1台	1台	—
監視カメラ	1基	—	—

※田の原山荘は田の原観光センターに併設

【噴火時の防災対応】

- 施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導
- 緊急避難場所として避難者等の受入れ
- 木曾警察署・王滝村等への救助要請
- 避難者名簿の作成
- 気象庁・王滝村等からの噴火情報の収集

【平時の防災対応】

- 通信機器・防災用具の点検
- 避難誘導訓練の実施

【関係機関】

名称
長野県木曾警察署
王滝村警察官駐在所
木曾広域消防本部
木曾消防署
県立木曾病院
王滝村診療所
中部森林管理局木曾森林管理署
木曾地域振興局
王滝村役場
一般社団法人木曾おんたけ観光局

緊急避難場所

(総収容人数 1,700名)

御岳ロープウェイ

センターハウス (収容 1500名)

御嶽社



レストラン ジーベン



ロープウェイ (全長 2320m 所要時間 片道約 15分)



山麓 鹿ノ瀬駅



駐車場



山頂 飯森高原駅 (収容 200名 ジーベン含む)



大型サイレン設置



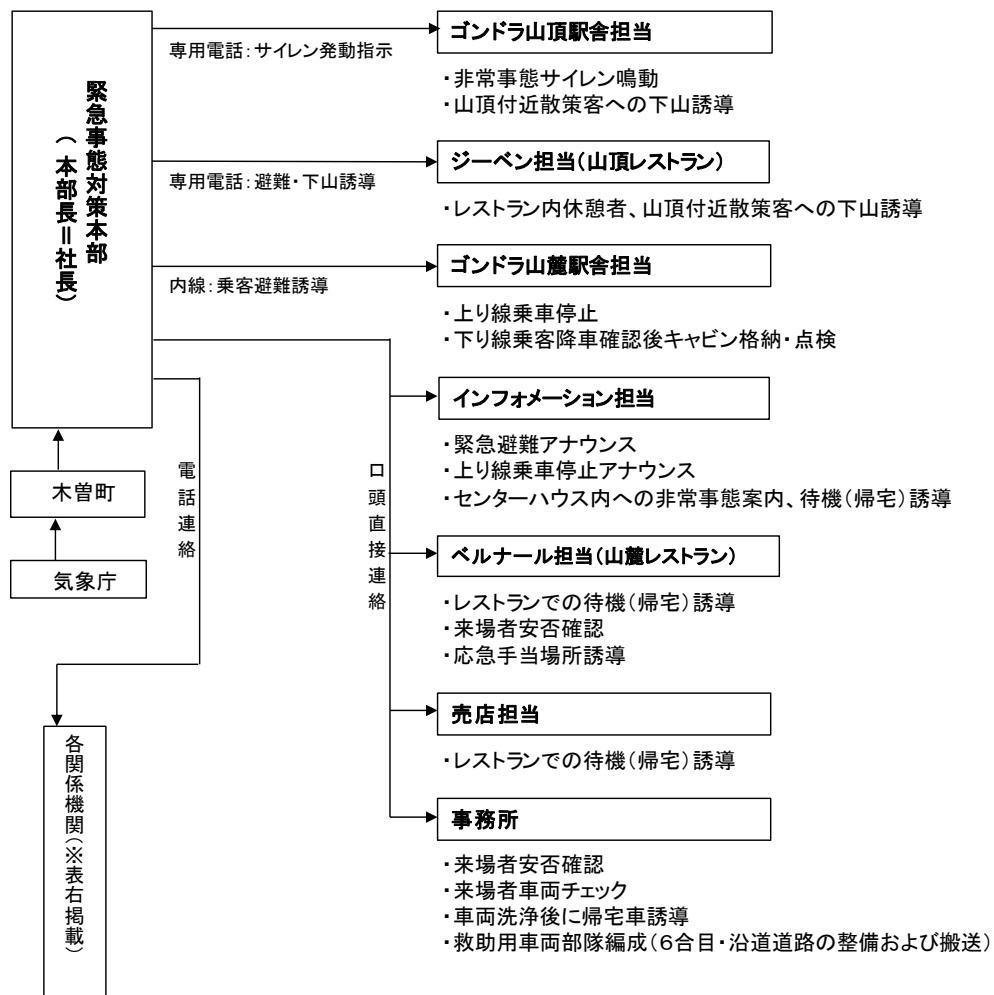
中の湯

案内看板

注意 ATTENTION 주의	
<p>日本語</p> <p>気象庁からの連絡により御嶽山に異常がありましたら、サイレンおよびアナウンスによりお知らせします。お近くの建物内に避難し、係員の誘導に従ってください。</p>	
<p>英語</p> <p>If there is abnormality in Ontake-san by a contact from the Meteorological Agency, I'll inform you by a siren and an announcement. Please take refuge in the building around here and follow staff's lead.</p>	
<p>韓国語</p> <p>기상청에서 연락하여 온 타케 산에 이상이 있으면, 사이렌 및 공지 사명을 통해 알립니다. 근처의 건물에 피난하고 당당자의 유도에 따릅니다.</p>	
<p>中国語 (繁体)</p> <p>如果从日本气象署有任何异常御岳山通报, 我会用警笛和公告通知您。 撤离在当地的建筑, 按照工作人员的指示。</p>	
<p>中国語 (简体)</p> <p>如果从日本气象署有任何异常御岳山通报, 我会用警笛和公告通知您。 撤离在当地的建筑, 请按照工作人员的指示。</p>	

■御岳ロープウェイ緊急避難連絡系統図(火山噴火災害)

緊急連絡先：0264-46-2525



■防災対策

★ 防災設備関連

- ・大型サイレン(2機新設)をゴンドラ山頂 飯森高原駅舎に設置
- ・避難施設案内看板(2か所)の設置
- ・拡声器(12)
- ・ヘルメット(500)
- ・マスク(1000)
- ・ゴーグル(1000)
- ・毛布(300)
- ・応急手当備品(災害多人数用救急箱)、AED
担架、バックボード

★ 情報伝達

- ・緊急速報メール(木曾町)
- ・案内看板
- ・啓発チラシ

★ その他

- ・緊急避難マニュアルの作
- ・避難施設明記の御岳ロープウェイ・イラストマップの作成

【避難施設(約1,700名収容)】

施設	収容人数
山頂駅舎	50名
山頂レストラン(ジーベン)	150名
センターハウス	1,500名

※関係連絡先

関係機関
木曾消防署
木曾広域消防本部
木曾警察署
三岳駐在所
木曾町役場
三岳支所
県立木曾病院
北陸信越運輸局
中部電力木曾福島営業所
松本労働基準監督署
木曾森林管理署
木曾地方事務所
行場小屋
女人堂
五の池小屋

緊急避難場所★

Evacuation Area★ (総収容人数2500名)

開田高原マイアスキー場

- 山頂シェルター SHELTER
- ティーホルン TEE HORN
- 第1山頂格納庫 Top of high speed quad lift
- センターハウス CENTER HOUSE

📢 サイレン設置場所



山頂シェルター (収容50名)
SHELTER



ティーホルン (収容100名)
TEE HORN

高速第1クワッドリフト
High speed quad lift



センターハウス (収容2000名)
CENTER HOUSE

第1山麓
Base of high speed quad lift

第1山頂格納庫 収容 (350名)
Top of high speed quad lift



【防災カード】

非常時の防災対策

御嶽山は2014年9月27日の噴火以来活動が続いています。噴火口から4km圏内は安全を考慮して入山規制がかかっており、常に気象庁が警戒にあたっています。当スキー場は規制区域外に立地し、危険性は極めて薄い状況です。安心してスキー、スノーボードをお楽しみください。

気象庁からの連絡により御嶽山に異常がありましたら下記に留意ください。

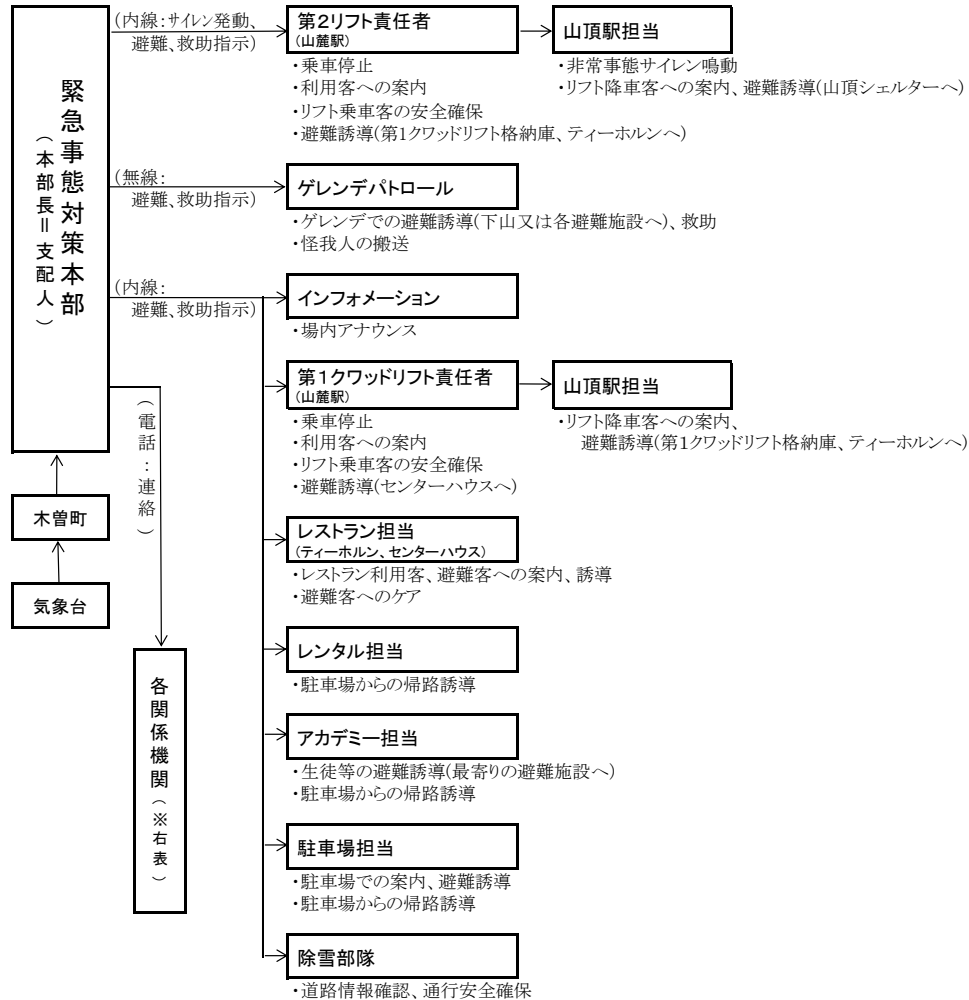
- サイレンおよびアナウンスにより避難に異常をお知らせします。速やかに下山をお願いします。また、リフトに乗っているお客様はあわてずにリフト降り場へ到着後、下山してください。
- 万が一に備え各リフト降り場付近に避難用シェルターを設置しています。またはレストランに落ち着いて避難してください。
- 避難時は、係員の誘導に必ず従ってください。

本資料館長 開田高原マイアスキー場

※避難に際して不明な点がございましたら、係員にお問い合わせください。

「開田高原マイアスキー場」緊急避難連絡系統図（火山災害）

緊急連絡先：0264-44-1111



※ 関係機関

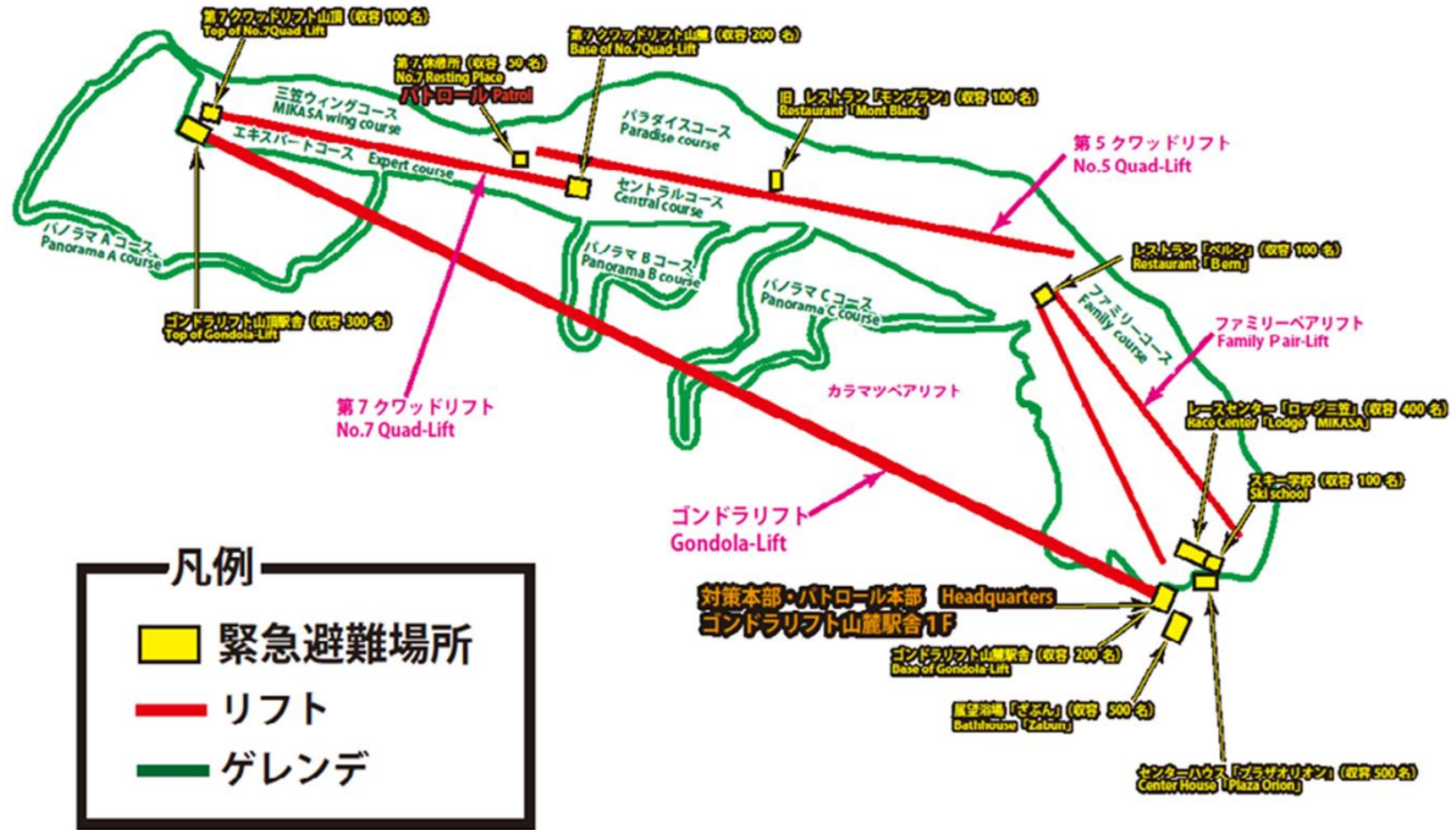
関係機関
木曾消防署
木曾広域消防本部
木曾警察署
開田高原駐在所
木曾町役場
開田高原支所
県立木曾病院
田沢医院
北陸信越運輸局
中部電力木曾福島営業所
松本労働基準監督署
木曾森林管理署
開田森林事務所
木曾地方事務所

【避難施設】(約2,500名収容)

施設	収容人数	誘導対象者
山頂シェルター	約 50名	第2リフト降車客
第1クワッドリフト格納庫	約 350名	第1クワッドリフト降車客、第2リフト待ち客、滑走客
ティーホルン	約 100名	同上
センターハウス	約 2,000名	第1クワッドリフト待ち客、滑走客

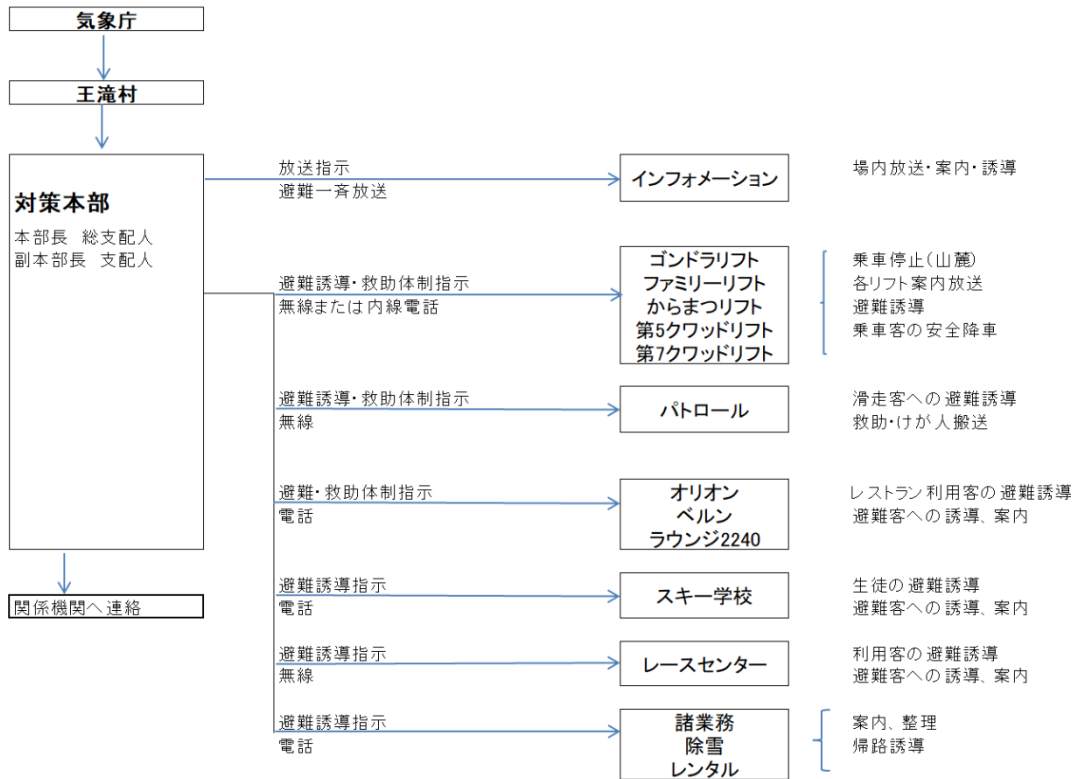
御嶽スキー場

緊急避難場所 Evacuation Area (総収容人数 2,550名)



御嶽スキー場【火山災害時緊急避難連絡対応図】

緊急連絡先：0264-48-2240



関係機関

木曽警察署
王滝駐在所
木曽消防署
木曽病院
王滝診療所
木曽保健所
中部電力木曽福島営業所
中部電気保安協会
北陸信越運輸局
北陸信越索道協会
王滝村役場
木曽森林管理署瀬戸川事務所
木曽地方事務所
松本労働基準監督署

営業再開までにとる安全対策

- ・場内放送設備にサイレン警報設備を追加
- ・ゴンドラ山頂駅舎へのサイレン設置(1基)
- ・ヘルメット、毛布の避難場所への備え付け
- ・避難誘導用拡声器の追加
- ・ゴンドラ山頂駅舎ガラスに飛散防止用フィルムの張付
- ・スキー場内に避難場所周知看板の設置
- ・避難場所を明示した防災カードの配布(チケット販売所)
- ・避難訓練の実施

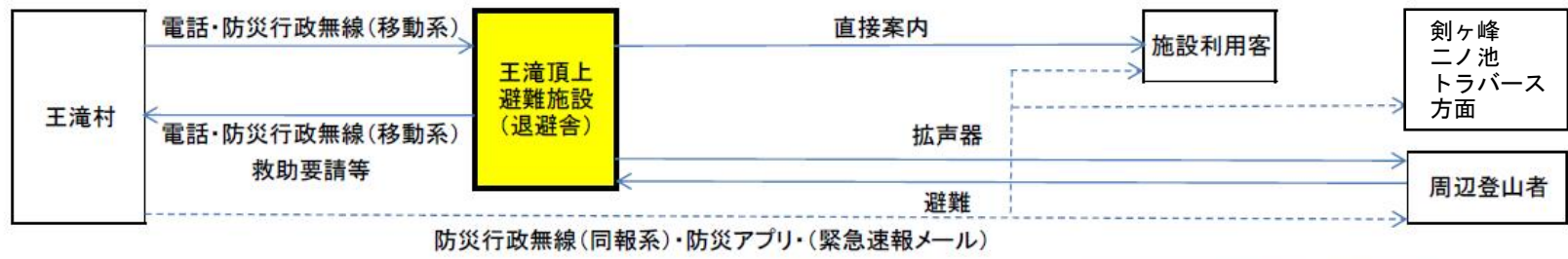
【避難場所】

施設名	対象者	収容人数(概算)	
ゴンドラ山頂駅舎(ラウンジ2240)	ゴンドラ降車客・山頂付近滞在客	300名	
第7クワッドリフト山頂小屋	第7クワッドリフト降車客・周辺客	100名	
第7休憩所	第5Q降車客・滑走客	50名	
第7Q山麓搬器格納庫	第7Q乗車待ち客	200名	
モンブラン	滑走客	100名	
ベルン	ファミリー・からまつリフト降車客・第5クワッド乗車待ち客滑走客	100名	
オリオン	ファミリー、からまつリフト乗車待ち客・滑走客	500名	
ロッジ三笠	〃	400名	
スキー学校	〃	100名	
ざぶん	滑走客	500名	
ゴンドラ山麓駅舎	ゴンドラ乗車待ち客・滑走客	200名	
計		2,550名	

王滝頂上避難施設・退避舎火山災害時防災対応図

緊急連絡先: パトロール員携帯電話

【情報伝達図】



【緊急避難場所としての機能】

開放期間 7月上旬～10月中旬

避: 木造2階建て

収容人員180名(緊急時最大受入可能数)

屋根・壁は噴石対策(アラミド)済み(R3)

退: 木造1階建て

収容人員100名(緊急時最大受入可能数)

屋根・壁の一部は噴石対策(アラミド)済み(R1)

避難施設・退避舎共通

パトロール員1名常駐

発動発電機 (10kVA2台 予備燃料100L)

携帯型無線機・携帯電話 / 防災ヘルメット150個

保温シート100枚 / マスク300枚 / ヘリハーネス1

懐中電灯30個 / 折畳み担架 / AED



【噴火時の防災対応】

施設利用者及び周辺登山者への情報伝達及び避難誘導

緊急避難場所として登山者等の受入れ

木曾警察署・王滝村等への救助要請

避難者名簿の作成

気象庁・王滝村等からの噴火情報の収集

【平時の防災対応】

通信機器・防災用品の点検

避難誘導訓練の実施

施設利用者及び登山者への啓発

【関係機関】

名称
長野県木曾警察署
王滝村警察官駐在所
木曾広域消防本部
木曾消防署
長野県立木曾病院
王滝村診療所
中部森林管理局木曾森林管理署
長野県木曾地域振興局
王滝村役場
一般財団法人木曾おんたけ観光局